

試験結果報告書

PM2.5微小粒子状物質の除去性能試験

2020年10月13日

合名会社 群馬長石 殿
上海高意匠医用材料有限公司 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.220S- 1063

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No.219S-1063

2020年10月13日

合名会社 群馬長石 殿
上海高意匠医用材料有限公司 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081大阪府中央区南船場4-9-11

試験項目 PM2.5除去性能試験

試験試料 貴陽石マイナスイオン発生器

試験条件 1) 試験日時 令和2年10月8日
2) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に約60,000個/cc濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、貴陽石マイナスイオン発生器をボックス内の中心に配置し、上記濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。
なお、表示の数値としては初期濃度を100%として、PM2.5が減少していく割合を連続測定する。

試験結果

PM2.5除去性能試験結果

	経過時間			除去率
	初期濃度	10分後	20分後	
貴陽石マイナスイオン発生器	100	0.006	0.0006	99.9
空試験	100	84.3	84.1	15.9

(単位: %)

考察 供試の貴陽石マイナスイオン発生器を使用した場合、PM2.5の除去率は20分経過後99.9%に達した。一方、空試験の場合は15.9%に止まった。
このことから、貴陽石マイナスイオン発生器には、空気中のPM2.5を除去する性能があることが示唆された。
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空間での実証試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

PM2.5除去試験グラフ

